

2. 景観構造別の景観的特徴

(1) 山林景観

- ・市域の約9割を占めており、郡上市の景観の基調をなしています。
- ・市街地や集落景観の背景となっており、市内のどこにいても眺められます。
- ・特に東海北陸自動車道からは連続的に山林景観が眺められ、郡上市の景観を印象付ける重要な景観要素となっています。



(小川峠からの眺め)



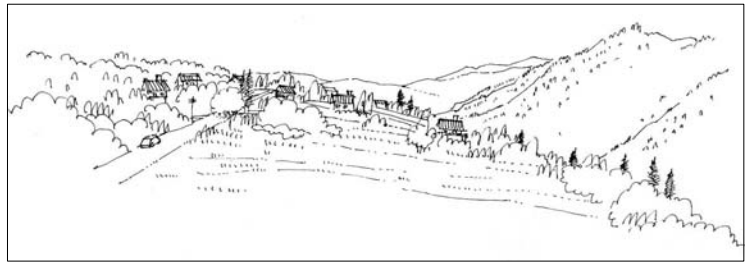
(牧/大和町)



(小川/明宝)

(2) 高原・リゾート景観

- ・主に高鷲町のひるがの高原、上野高原、明野高原といった高原上の景観であり、高冷地野菜の大規模な耕作地や、スキー場、別荘地といったリゾート地としての土地利用が見られます。
- ・緩やかな起伏のある地形で、広々とした開放感のある景観が展開しています。
- ・視界を遮るものが少なく、遠方の山並みの稜線が美しいスカイラインを形成しています。



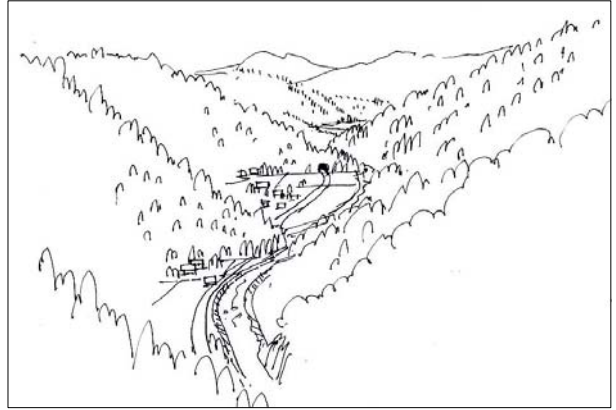
(上野/高鷲町)



(ひるがの/高鷲町)

(3) 谷筋集落（洞）景観

- 山間を流れる河川沿いの谷筋に形成されている集落の景観であり、細長い形態で空間的な方向性が強いことに特徴があります。また、谷地に急峻な山が迫っており空間全体が狭く、囲まれ感やまとまり感が強く感じられます。
- 郡上市内に数多く存在する景観構造であり、郡上市の景観を特徴付けています。
- 山（里山）、集落、農地、川が一体となった空間構造で、特に谷筋上流側の集落は、昔ながらののどかな農山村景観が残されています。
- 限られた土地を有効に利用するために、棚田や段々畑が形成されている場合も多くみられます。



(気良/明宝)

(4) 沿道集落景観

- 郡上市の中では比較的谷幅が広く、広域を繋ぐ道路（国道）が通る長良川、吉田川、和良川沿いに形成されている集落の景観です。
- 交通量が比較的多い道路沿いに立地していることから、当該タイプの景観は、地域のイメージを形成する上で重要な位置づけとなります。



(相戸/美並町)



(福野/美並町)

(5) 市街地景観

- ・人口および行政・商業サービス機能が集積し、建物が連担している地区の景観で、八幡町、大和町、白鳥町の中心部およびその縁辺部の景観が市街地景観に該当します。
- ・出桁や連子格子、袖壁等を有した木造二階建ての建築物が連続する町並み景観が、歴史的な趣を演出しています。
- ・一方、縁辺部では近代的な建物が立ち並び、無秩序に市街地が拡大している地区も見られます。また、道路沿いに様々な規模、形態、色彩の屋外広告物が掲出されており、雑多な印象を与える地区も存在します。



(八幡町市街地)



(小野/八幡町)